

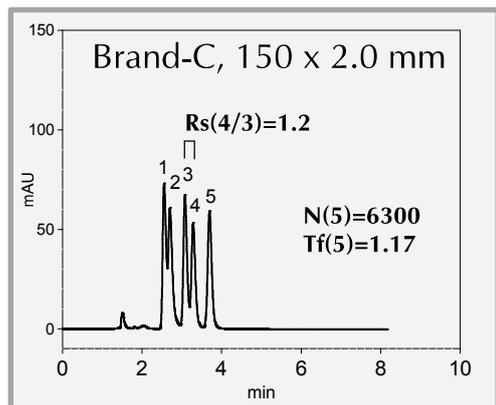
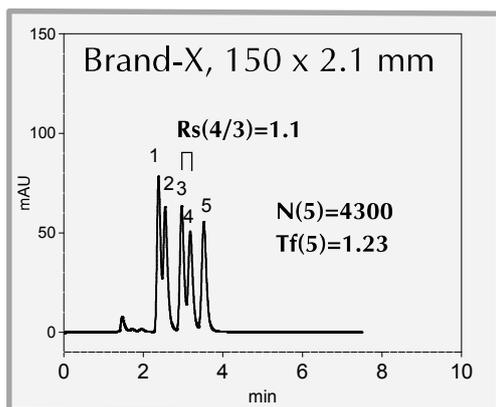
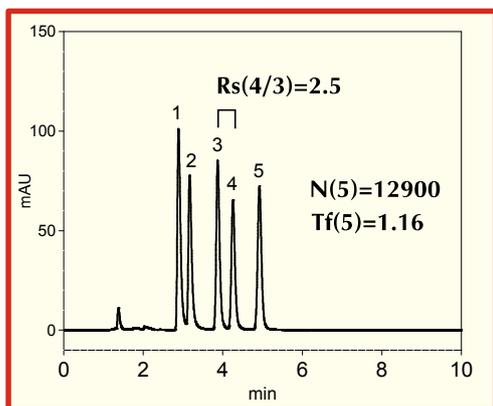
Cadenza CD-C18

150 x 2 mm

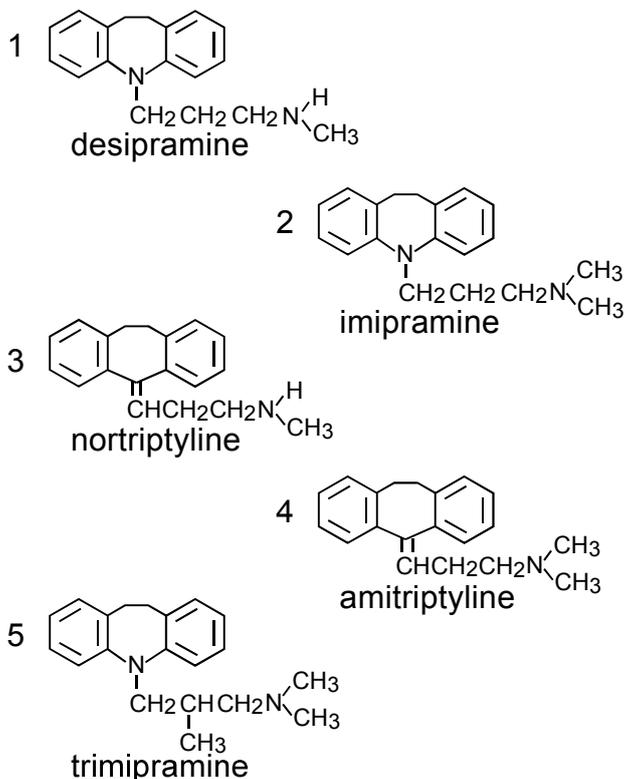
Technical

## 塩基性化合物の分離比較

Cadenza CD-C18, 150 x 2.0 mm



50 mM KH<sub>2</sub>PO<sub>4</sub>-K<sub>2</sub>HPO<sub>4</sub> (1:1) /  
MeOH = 10 / 90  
0.2 mL/min  
37 deg.C  
UV at 254 nm



三環系抗うつ剤はpKaの高い塩基性化合物であり、構造も類似していることから、分離状態やピーク形状に関してカラム間に違いの出やすい化合物群です。

セミマイクロカラムを用いた分離挙動の比較では、分離度や理論段数に大きな違いが認められました。すなわち、比較カラムでは分離度 (Rs) が 1.1-1.2 であるのに対して、Cadenzaは 2.5 と2倍以上の分離性能を示しています。また、理論段数も2倍以上の性能を示しました。さらに、ピーク形状 (Tf) も Cadenzaの方が良好と判断されます。

このように、塩基性化合物の分離に関する同一条件の比較において、Cadenzaは分離挙動やピーク形状的に良好な結果を与えています。

Cadenzaはセミマイクロカラムでも、従来カラム以上の性能を発揮することができます。